

物流革命

監修：角井亮一
(株式会社イー・ロジック)

2022

日経MOOK

『ロジステイクス』×戦略
で経営の最先端を
読み解く

2 大対談

佐川急便 本村正秀 社長
BEAMS 竹川誠 本部長

×
角井亮一 氏

楽天西友ネットスーパー
Wolt、パンダマート…etc

注目企業の
物流戦略

物流ロボティクスやテクノロジーの最前線
EV、コンテナ不足など世界の潮流もわかる
進化する物流倉庫を徹底取材

日本経済新聞出版

倉庫空間有効活用ソリューション『タナTSumU®&ハイピックランナー®』 大手EC企業物流センターで展開中

1963年に創業し、今年で59年目を迎える株式会社ジャロックは、創業当初から大手自動車メーカーの多品種少量部品の庫内物流に長く携わってきた企業だ。

昨今は、“巣ごもり消費”によるEC(電子商取引)の急成長とともに、物流倉庫の役割も大きく変化。メーカーが自社商品を大量保管する少品種多量型の倉庫から、大型店舗のように膨大な品物を少量ずつ管理運用する多品種少量型の倉庫へとニーズが移り変わっている。その『モノづくり』のための倉庫から、『モノ配り』のための倉庫へと大きく変化している中、ジャロックはこれまでの経験をいかし、時代が求める革新的なソリューションを提供している物流業界の風雲児だ。

例えば、代表的な製品に、既存の中量ラックの上部に高さ5mのラックを増設する『タナTSumU®』(タナツム)と、ラックの間を走行し、人が乗るデッキを高さ3.2mまで昇降できる『Hypick Runner®』(ハイピックランナー)がある。人が品物をピックアップするECなどの倉庫では、手を伸ばせる高さ2m以上の上部空間がどうしても無駄なスペースになってしまう。そこで、この2つの製品を組み合わせれば、高さ5mの棚にも手が届き、限られた倉庫スペースも、より多くの商品保管が可能となるのだ。

『タナTSumU』は既存ラックの解体や保管物の移動をせずに増設でき、日々の物流作業を止めずに設置できることも革新的だ。また、『Hypick Runner』は、フォークリフトの免許がなくても運転でき、女性でも安全かつ簡単に操作し、高所の品物をピックアップできることが革新的。この様に、これまでの経験を踏まえお客様の課題とニーズを的確に捉えソリューション提供するのがジャロックなのだ。



※既存の中量ラックの上部に高さ5mの高層ラックを増設できる『タナTSumU®』と、高さ5mの高層ピックアップ作業を可能にする『Hypick Runner®』と組み合わせることで庫内の上部空間を大幅に有効活用することが可能となる

「常に物流業界の先駆者でいたい」そうこたえる
株式会社ジャロック
代表取締役社長 斉藤力丸氏





Logistics for the future



Logistics for the future

ジャロックグループ

「物流で感動を届けたい」

お客様と共に歩み続けて今年で59年。

これからも、物流で感動をお届けし共に歩みたい。

ジャロックグループは、ロジスティクスの提案活動を通じて社会や環境に貢献しながら「未来」を切り開く先駆者でありつづけます。



株式会社ジャロック

〒164-0011 東京都中野区中央2-59-18 お電話のお問い合わせはこちら「受付:平日 9時~18時」フリーダイヤル 0120-70-3810

検索 ジャロック

<https://www.jaroc.com/>

